

これぞヒット商品

ラ、キエとアイトルデッキR30を販売している。

バイタルデッキは、R25の25mm厚、R30の30mm厚という2種類。25mm厚は住宅などでの

公共施設に合わせ新商品

特注色がある人工木デッキ材

東京工営

一般のデッキ材で利用されることを意識した商品。R30は、文教施設や公共施設の需要に対応するため開発された商品だ。同社は、千葉県流山市立おたかの森小中学校などの施設でバイタルデッキが

形状と、耐荷重強度の向上と脳天ビス打ちにより強く対応するための断面形状を改良し、細かい点が改良されている。パーチ、ライト、ブラウン、ダークの4色を用意してユーザーの要望

せることや、外装・植栽などと調和した建物全体のイメージをデザインできる。同社は、バイタルデッキの取り扱いを始め、7年になる。同社の販売量は、毎年50%以上のペースで伸びてい

る。18年春には、大阪納期を軽減している。空港がリニューアルに伴って、1000坪の展示場を開設し、専用トラックで運送する。倉庫の出荷体制で、運賃と

は重くて運送費が掛かるため、最寄りの倉庫の出荷体制で、運賃と



ノコギリ、は重くて運送費が掛かるため、最寄りの倉庫の出荷体制で、運賃と

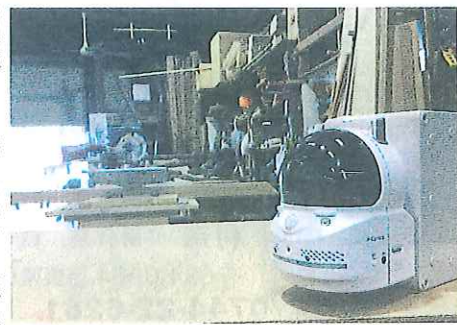
遠隔地をライブ映像

現場監督の負担を緩和

吉田東光

建材商社の吉田東光 見守る君」は、建築現場(さいたま市、吉田)の効率的な確認作業(社長)がレンタルする。安全管理・作業員の現場監視カメラ「現場 マナー向上に貢献するシステム

だ。



屋内利用向けのインドアタイプも登場

導入時は、どの情報共有にも有効。深刻化する現場の職人不足を補う有力な補助ツールといえる。ハウスメーカーや工務店といった建築関係を中心に、採用事例は右肩上がり。2018年12月時点のレンタル台数は約800台に達し、採用現場数は5000件(同社調べ)を超えている。約90%というリピート率も、同システムへの信頼の高さを裏付ける。



簡単に据え付けられ、現場を逐次チェックできる

専用アプリを介し、スマートフォンやタブレット端末に現場の様子をライブ映像を配信する仕組み。ライブ映像はSカードに録画され、で、使いやすい。

部分には日差しが強い場所でもまぶしさを軽減するスモーク処理が施され、視認性に優れた軽量・小型の設計で、使いやすい。現場状況やユーザーのアイデアによって自由自在だ。遠方の現場の状況・天候確認や防犯対策はもちろん、施工



ド輸入販売のシャーマに、同製品の耐火60分とCLT耐火60分国土交通省認定取得を目指す。松岡社長は「省エネ基準の義務化は先送りされたが、20年民法改正で家を造りは消費工者保護が大前提となる

サイディングプレカット事業を加速

資材管理システムで効率化

丸岩

ト機械を入れ替えた。18年は構造材のみの加工で年間4万8000坪だった。月産では3500〜4000坪だった。18年春からは、運搬の一部を自社で行っており、4トトラック2台を導入した。19年には、6トトラックを1台導入する予定だ。トラックは社員が運転免許を取得し、空きが出ることなく順調な動きだ。

丸岩(岩手県奥州市、岩淵淳社長)は、金物兼用機(月産4000坪)と金物専用機(同2000坪)の2ライン構成で、月産約6000坪のプレカット加工をする。2016年12月にはプレカ

システムを会社内で見直し